

お知らせ

記者発表資料 平成17年7月20日

提供先

島根県県政記者会

水質事故に関する情報提供【第1報】

状 況 2005年7月20日 9:00 現在
19日 15:10 頃 国土交通省の河川パトより、松江市大井町地先の中
海においてハゼの斃死(約1,000匹)及びその他魚の斃死(約1,000匹)
を確認した。
ハゼ及び魚の検体について原因物質の調査を行うため内水面試験場へ
搬入を行ったが、検体が腐敗しており調査ができない状態であった。
17:45 国土交通省により、斃死した魚類の回収作業を開始した。
19:40 本日の回収作業について終了とする。
20日 8:40 国土交通省により引き続き回収作業を行っている。

事故の種類 ハゼ及びその他魚の斃死
発生確認時刻 平成17年7月19日(火)15:10頃
発生場所 松江市大井町地先(別紙)
発生原因 別紙のとおり
原因物質及び量 別紙のとおり
周辺への影響 ハゼの斃死(約1,000匹)及びその他の魚の斃死(約1,000匹)
今後の対応 国土交通省により引き続き回収作業を行う。

斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会

問い合わせ先

国土交通省 出雲河川事務所 水環境課

TEL: 0853-21-1850

専門調査員 江島(えじま)

発生原因

- ・ ハゼなどの湖底に生息する魚類のみの斃死から、毒物による影響ではないと考えられます。
- ・ 腐敗の状態から、発見直前に死んだものではなく、また、17日に国土交通省により河川巡視を行った時に斃死を確認できなかったことから、18日頃に斃死したものだと考えられます。
- ・ 18日は、中海湖心において約8m/s前後の西の風が10:00～20:00まで断続して吹いており、中海下層の硫化水素を含む貧酸素水が湖底から沿岸の浅瀬へ移動することにより、湖底に生息しているハゼ等が大量に斃死したものだと考えられます。

なお、18日の22:00～19日の3:00にハゼ等の斃死が確認された近傍の大橋川下流の観測所においてDO（溶存酸素）2mg/l以下の貧酸素が中海から遡上していることを確認しています。



その他魚のハレ死確認

ハレハレ死確認

松江市

59.5

60.0

60.5

60